

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	120
------	-----

事業名	学校を核とした県内1000か所ミニ集会		
担当課・室・班名	教)生涯学習課	問合せ先(電話番号)	4069

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	5	基本方策	①家庭・学校・地域の連携					
事業内容	地域住民の声を学校運営に生かす開かれた学校づくりや学校を核とした地域コミュニティの構築を目的として、原則として県内すべて(千葉市を除く)の公立小・中・義務教育・高・特別支援学校等を会場に、学校職員と保護者や地域住民が学校・家庭・地域の様々な教育課題について、膝を交えて本音で語り合う。									
当初予算額(千円)	H30年度	100	R元年度	88	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		76								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・市町村教育委員会、県立学校に対して、実践例等を掲載した平成30年度版リーフレットを配布した。
 ・各種会議では、ミニ集会の開催方法や内容の充実を呼びかけたり、県教育委員会ホームページに優れた実践例を掲載したりして周知啓発を図った。
 ・教育委員や教育庁内職員等が各地区のミニ集会を参観し、ミニ集会の現状を把握するとともに、報告書を作成し参観校に送付した。

(2)事業の成果

・ミニ集会の実施については、平成29年度に続き、千葉市を除く県内全ての公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校において実施された。(開催校数:小学校677校、中学校319校、高等学校128校、特別支援学校38校、義務教育学校2校 参加者数:81,550人)
 ・地域とともに企画運営している学校の割合が、前年度に比べ2.0ポイント増加の70.0%となり、保護者や地域住民が学校と一体となって、地域コミュニティの構築の醸成が図られている。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・19年目を迎え、実施率は100%となっているが、「取組のマンネリ化の解消」や「学校や地域の情報共有の深化」などに対して工夫する必要がある。
 ・地域で関心の高い教育課題をテーマに設定したり、保護者だけでなく、学区内の自治会等を通じて、地域の方々に参加を呼び掛けたりする。
 ・各種会議・研修会の機会に、ミニ集会に対しての更なる周知を図っていく。

○参考

関連指標	[学校と地域との連携] 教育課題について語り合う集会を地域住民と連携して企画・運営している学校の割合					目標	76.0%
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4	
	66.7%	70.0%					

4 委員意見

5 担当課回答

--	--